

私は、2月19日から23日に行われた台湾への研修旅行に参加しました。
参加した理由は、私は以前から海外に興味をもっており、まだ自分の知らない世界を自分の目で見てみたい。という好奇心から始まりました。
日本にはない魅力を感じ、日本との違いを比較したい。という思いで今回の台湾研修に参加しました。実際に台湾に行ってみて、多くの日本との違いや、魅力に築くことができました。

1.台湾の街並みや風景

台湾に到着して、一番最初に感じた日本との大きな違いは、街並みです。
日本では、道路には車が沢山走っているのが一般的ですが、台湾では車はそれほど走っておらず、多くの人々が、原付バイクに乗っているということが、一番最初に気付いた日本との大きな違いです。

また、学校の作りにも日本との違いを感じました。台湾の学校はとても豪華で、お城のような外見をしており、「私もこんな学校に通ってみたかった。」と、うらやましい気持ちになりました。日本では珍しい幼稚園から中学校までの一貫校があるため、校舎も大きく作られているのでしょう。

もう一つの違いとして、私が驚いたことは、台湾には町中にカラスがいないということです。

町を歩いていて、鳥を発見することはあったのですが、カラスを見ることがありませんでした。日本では、どこにでもいる存在ですが、実際に台湾にはカラスがいないという事実を知り、とても疑問に思い、調べてみました。インターネットの情報によると、もともと台北にはカラスは存在したのですが、1997年に台北では家庭ごみ改修方法を100%アメリカの改修方式に変えた途端、ごみをあさるカラスが見当たらなくなったそうです。

アメリカの改修方式は、各家庭にドラム缶サイズのプラスチックのごみ缶を配給し、ごみはプラスチックの袋に入れてから、ごみ缶の中に入れます。

ごみ缶にはフタがついているので、カラスはどうすることもできません。
そして、毎週1回決まった日に各家庭の道路沿いに置いておくと、アメリカ製のごみ改修車が鋼鉄のアームでごみ缶を持ち上げて、背中の大きなタンクにごみを落として、ごみ缶をもとの位置に戻します。この改修法のおかげで、カラスの餌場がなくなり、台北

市内からカラスは消えた。と、言われているそうです。しかし、山には生息しているみたいです。日本のように真っ黒のカラスではなく、色や柄は異なるみたいです。

これで、日本との違いについては以上となります。

最後に、今までは日本との違いについて、話していましたが、1つだけ日本と共通している部分も見つけることができました。それは、お店です。

空港からバスで高速道路をおり、少し走ると都会の街並みが広がっていました。

その町並みには、どこもかしこも日本のコンビニや飲食のチェーン店が広がっており、とても親近感が湧きました。コンビニの中に実際に入ってみると、日本のお菓子やお酒などが沢山売られており、そこが唯一の日本との共通点だったのかもしれない。

2.台湾の学校、教育

私たちは2日目に幼稚園・3日目に幼稚園と小学校が一貫している学校へ行き、子供たちに物作りを教える授業を行いました。

学校に着いて、まず最初に思ったことが、先ほどもお話ししましたが、校舎や校庭が豪華すぎることです。特に3日目に行った一貫校は、校庭に陸上のトラックや、バスケットゴールがついており、園児や児童が休み時間に楽しく遊べるような環境が整っていると感じました。

私たちが、現場につくと、現地の先生の方々が迎え入れてくれ、とても感激してくださいました。台湾はおもてなし精神がすごく、台湾で有名なパイナップルケーキや、タピオカミルクティー、園児のアルバムなどを私たちにくださったほか、一貫校では、給食もご馳走になった上、PTAの保護者様から給食とは別に、台湾の料理をご馳走になりました。私たちが来たことによって、こんなにも歓迎してくださっていることにとても喜びを感じました。

次に台湾の教育について話していきます。

台湾は幼稚園から英語の教育に力をいれており、簡単な英語であれば、園児も理解できる。ことを知り、驚きました。こんなに小さい子が母国語以外の言語も理解できるほど台湾の教育は熱いものだとことを肌で感じることができました。

小学校では、小学校のうちから、コース別に分かれており、私達が行った学校は、スポーツコースと美術コースに分かれており、私たちは美術コースの生徒と一緒に万華鏡を作りました。皆さんセンス抜群で上手に完成することができました。

また、教育のことではないのですが、私が今目指している養護教諭のような存在は台湾の学校には1名おり、児童の体調が悪いときは、学校で看病するのではなく、近くの病院につれていくことが台湾の養護教諭の仕事のようです。

私は初めて人に授業を教えるということを行い、国も言語も違う中で教えていくことがとても大変でしたが、今回の研修に参加しなかったら、このような経験はできないので、本当にいい経験をさせてもらったと思います。

3.台湾での思い出

台湾研修では色んな台湾の名物を食べました。

1日目の火鍋はタレがとても辛くて、あまり食べることはできなかったのですが、初めて火鍋を食べることができて満足です。具材はバイキング形式で好きなものを選んでいくのですが、アヒルの血の塊を食べたときは何とも言えない気持ちでした。

2日目は昼食を済ませた後、足つぼマッサージにいきました。私はくすぐったいのが苦手で30分耐えるのに必死でしたが、マッサージ後は、いつもの足の感覚と全然違い効果を感じられました。夕食に行ったデインタイフォンでは、中華の本場の味を楽しむことができました。店内に入ると、小籠包をつくっている方たちの姿をガラス越しから見るすることができました。

3日目の夜は夜市へいきました。人が多く道幅も狭いことで、とても歩きにくかったのですが、お目当てのものが食べることができて良かったです。

4日目は龍山寺と101へいきました。龍山寺は台湾で有名なお寺らしく、お参りをすると、願いが叶う強力なパワースポットのようなのです。

101は大型のショッピングモールで高級なブランドのお店が勢ぞろいでした。

夜は、最後のみんなとの食事を済ませ、最終日が終わりました。

4.台湾研修を終えて

私はこの台湾研修で色んなことを学ぶことができ、沢山の思い出ができました。中でも一番私の中で嬉しかったことは、研修を通して学年も学科も違う方々と関わることができ、仲良くしていただき、本当に有難く、とても楽しい時間を過ごせました。ありがとうございました。この研修に参加していなければ、恐らくみなさんにお会いできることはなかったと思います。人と関わりをもつということは、自分から人と関わる機会を増やしていかなければ、大切な思い出は作れないということを知ることができました。今回の研修は私の中で一生の思い出となることでしょう。

もし、来年も台湾研修に参加する機会があれば、参加したいです。